

経営比較分析表（令和3年度決算）

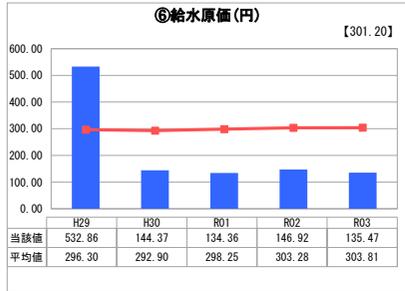
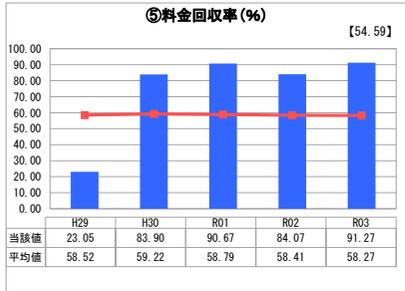
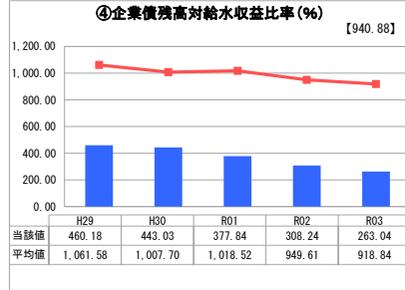
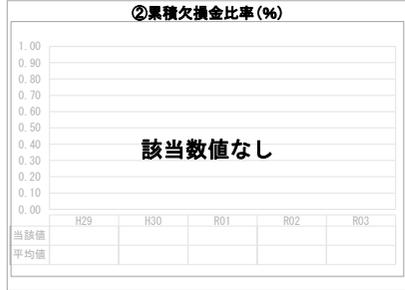
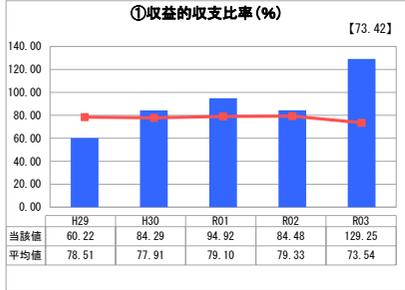
熊本県 西原村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり客単料金(円)	
-	該当数値なし	64.75	2,112	

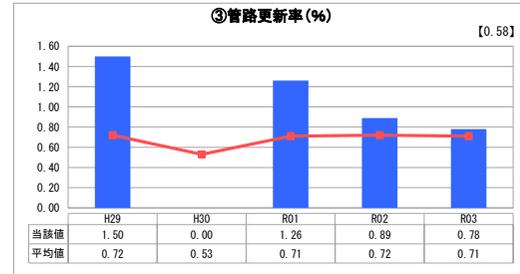
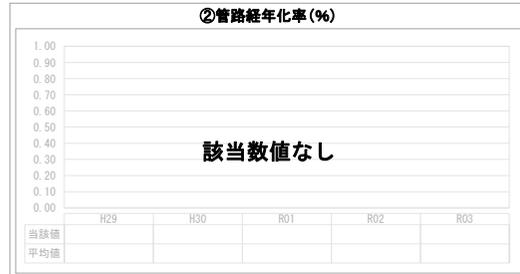
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,729	77.22	87.14
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
4,371	7.15	611.33

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①水道事業の収益は、令和3年度において西原村の他簡易水道事業との水道事業統合により加入金等で一時的に収益的収支比率が大幅に増加している。
 ②該当数値なし
 ③該当数値なし
 ④企業債残高対給水収益比率は、平均値より大幅に低くなっているものの、今後の施設更新時に適切な投資規模となるものが分析し、経営改善に努める必要がある。
 ⑤料金回収率は、類似団体平均値より高い値ではあるが100%を下回っており、適正な水道料金の設定、経費削減等に努めていく必要がある。
 ⑥給水原価は、良質な地下水に恵まれており、類似団体平均値よりも低く抑えられている。
 ⑦施設利用率は、平均より高い水準となっており、適切な施設利用が行われている。今後も他簡易水道事業との統合も控えていることから、施設更新等には施設規模の検討を行う必要がある。
 ⑧有収率は、類似団体平均値より高い値となっているが、今後も老朽化した施設・配管等を更新していくことで有収率の向上を図る。

2. 老朽化の状況について

①該当数値なし
 ②該当数値なし
 ③水源池、配水池などの施設や水道管ともに年々老朽化が進み、大幅な改修の必要性や漏水による修繕が増加している状態にある。施設・設備については計画的・効率的な更新を実施していく必要があり、また老朽管については管路更新整備計画を策定し、効率的な布設替えを行い安定的な給水確保を図る。

全体総括

経営の健全性及び効率性に係る指標を分析すると、おおむね健全な状態である。
 しかしながら、今後は施設・管路の更新需要の増大等が見込まれるため、アセットマネジメントや経営戦略を策定し、事業の規模適正化や長期的な収支予測を立て、計画的に事業を行うよう取り組んでいく必要がある。